

## ルビナを家事使用人として働きに出すかどうかの話し合い

11歳のルビナは5人きょうだいの長女で、農業をしているお父さんと専業主婦のお母さんとの7人家族です。現在ルビナは学校に通っておらず、お父さんの農業やお母さんの家の手伝い、きょうだいのお世話をしています。仲介人からルビナの働き先の紹介があったため、ルビナを家事使用人として働きに出すかどうかの話し合いが行われることになりました。

この話し合いには、父親のニタイ、母親のシャンティ、ルビナ、仲介人のアロム、雇用主のカウサール、村の小学校校長のサイフル、NGOスタッフのマフザが参加しています。

### 登場人物



ニタイ  
(父親 35 歳)  
農業従事者

シャンティ  
(母親 28 歳)  
専業主婦



ルビナ  
(女の子 11 歳)



アロム  
(仲介人男性 38 歳)  
父親の親戚

カウサール  
(雇用主女性 32 歳)  
夫が政府の役人

サイフル  
(村の小学校校長  
男性 53 歳)

マフザ  
(NGO スタッフ  
女性 43 歳)

### <話し合い>

1. ルビナを家事使用人として働きに出すかどうか決めてください。
2. 働きにだすかどうか決めた時に議論になったことは何ですか？